

第10回 中央地区ふれあい祭り

パウムクーヘン作りに
挑戦!!

～つなげよう中央地区の絆～

10月26日(日)秋晴のなか、
約400人が来館!



民族舞踊集団 garuda の
皆さんによる力強い民舞



ミニSLを楽しむ親子連れ



カラオケ発表会



大手公民館歌唱講座
由音の会



中央地区民踊会



十三木曜会



上土よいまちクラブ

各団体の皆さんによる
ステージ発表



力作の数々
作品展示会



保健師による
健康チェック



賑わう
販売コーナー

大盛況!
催し物
コーナー



わたあめ
もらったよ!



中央地区 自主防災訓練を開催!

防災訓練を顧みて

防災部長 出井 健二

9月28日(日)、中央地区自主防災訓練が開催されました。

今回は、安否確認と避難所開設を主たる目的とした訓練を、より実践に近い形での訓練にしようと考えました。その為、県自主防災アドバイザーで防災コンサルタント経営の養田和裕さんをはじめ、松本市危機管理課、公民館関係職員に計画をお願いしました。

当日は、朝8時30分震度7の地震が発生したとの想定で訓練開始です。各町内指定の一時集合場所に集合し、救出班・救護班による安否確認を行ってから避難誘導班による案内で主会場の開智小学校へ向かいました。体育館前で避



多くの住民が参加した防災訓練



給水方法も学びました

難者名簿を作成し、市危機管理課職員による体育館の安全確認後、館内に入りました。ここまでの間、少し待たされましたが、実際の災害時はもっと待たされます(およそ2時間)。冬季時は防寒対策、夏季は暑さ対策をお願いします。館内では、総務班の指示で町内毎に分かれ、情報班の正確な情報を共有しました。その後は、日赤奉仕団による炊き出しの配布、給水班による水の提供訓練、物資班による物資調達訓練がありました。

最後に藤村会長(本部長)からの訓示により、すべてが終了しました。

実際の災害時には、何気ない日常生活から不便な避難所生活になると思われます。昨年完成した防災組織図に沿って、それぞれ個々の役割分担の徹底が今後の課題とされています。

松本城の野鳥たち ②

キジバト



写真は久保田佐久良さん(岡田在住)が松本城の外堀で撮影

キジバトは、鳥綱ハト目ハト科キジバト属に分類される鳥で、別名ヤマバトとも呼ばれます。

全長約33cmで、翼に黒と赤褐色のうろこ状の模様があるのが特徴です。

食性は雑食で、主に果実や種子を食べますが昆虫類や貝類、ミミズ等も食べます。一般的に、つがいで見られることが多いですが、繁殖がうまくいかなかった場合は、1シーズンでつがいを解消するパターンも多いようです。

長元坊 チョウゲンボウ

私は大学生活のゼミナル活動で、上土町という地域で街の活性化をやってきました。初めは、地域活性化といっても何をしたいのかわからず、失敗ばかりを繰り返していました。失敗を繰り返していきううちにこのままじゃ駄目だと思ひ、街の人にも協力をお願いして皆で話し合い、どうやったら人が集まるのか考えました。その中で、ネイルアート体験や、スイーツラリーなど、面白いイベントを開催することができ、街の人と学生が一体化して企画に参加することで達成感という喜びになり、企画を立ててイベントを開催することが楽しみ



「上土日和」の人力車乗車体験コーナーで人力車を引く宮崎さん

になってきました。

私はこの活性化活動を通じて、地域の人たちの温かさを感じる事ができ、私自身とてもうれしく感じ、この地域が益々好きになりました。大学を卒業しても、この地域に関わっていききたいと思いました。

(宮崎 智成 大学生)

語り継ぐ一枚

3

今年、台風18号、19号と日本列島に種々の被害が出たようですが、幸い松本は影響もなく、安堵いたしました。それにつけて過去、松本市も昭和34年8月14日の7号台風により、市街地が大きな被害を受けました。女鳥羽川上流からたくさんの流木があり、一ツ橋の橋桁に詰まった為、通路が川となり写真のような状態になりました。

店内に流水が1m以上流れ込み、商店等すべてが流失し、大被害を受けました。

その後、女鳥羽川改修事業が行われ、現在のような橋桁のない安心、安全な状態になりました。



写真は藤森安子さん(上土町)から提供